

1. 注意

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線とS-LINKアダプターが必要になります

裏面参照

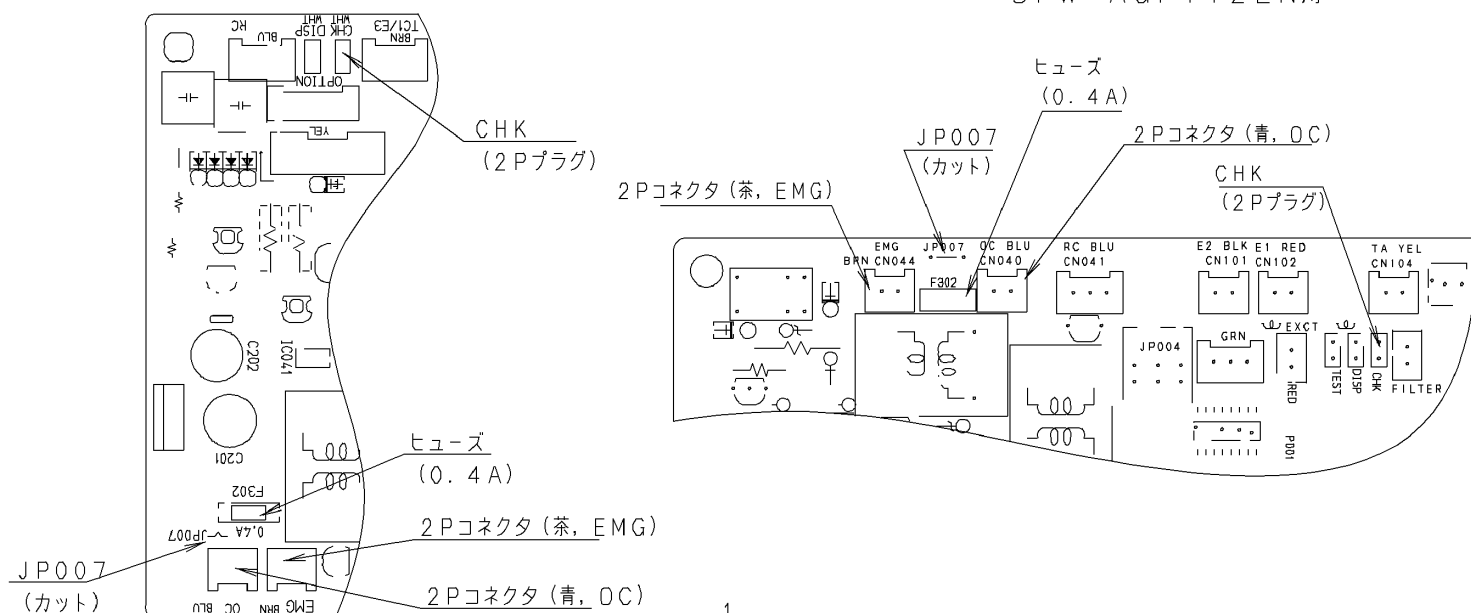
- このユニットは、SPW-AGP180ENでは、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプで使用することができます。また、SPW-AGP112ENでは、室外ユニット1台に室内ユニットを2台接続して使用することができます。
- 室内ユニットを複数台使用する場合は、＜項目6＞“システムコントロールする場合”も合わせて参照してください。
- 室内・室外ユニットのコントロール基板には、半導体記憶素子（不揮発性メモリ）を使用しております。工場出荷時は、運転に必要な設定がされております。
- 適正な室内・室外ユニット組み合わせ以外でのご使用はできません。
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして“取扱説明書”を説明した上で、実際に操作していただけてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内ユニット7P端子板のSG1, SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
*誤ってAC200Vを印加した場合は室内コントロール基板のヒューズ（0.4A）を溶断して基板を保護するようにしています。配線の接続を修正した後、基板に接続されている、2Pコネクタ（青、OC）を外して、2Pコネクタ（茶、EMG）に差し換えてください。
茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線（JP007）をカットしてください。
（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください。）
- 室外ユニット7P端子板のSG（SG1）, SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。
*誤ってAC200Vを印加した場合は、回路を溶断して基板を保護するようにしています。
配線の接続を修正した後、室外コントロール基板の（EMG）コネクタに接続されている短絡ピンを「1から2」へ差し替えてください（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください）

SPW-AGP180E

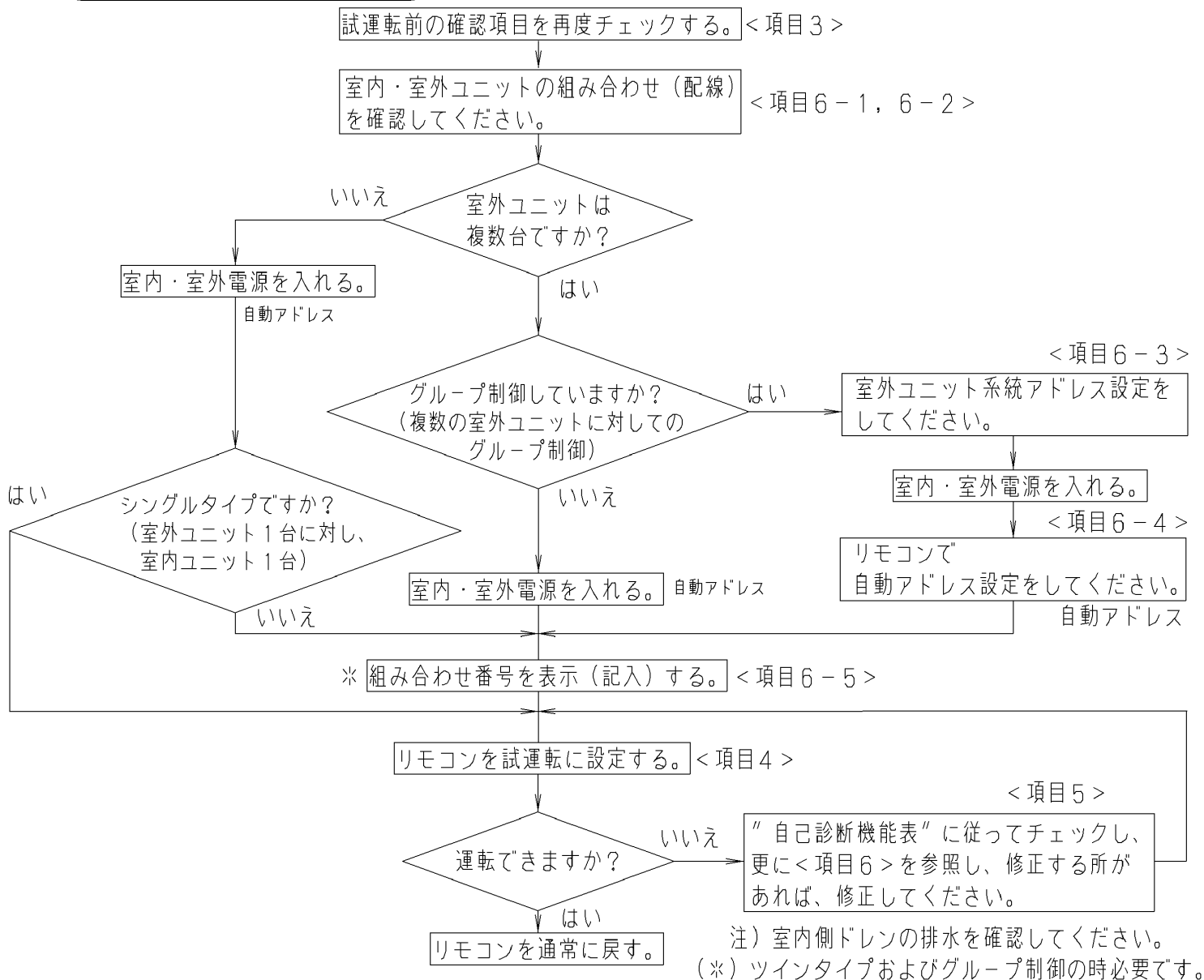
SPW-AGP180EN用

室内コントロール基板

SPW-AGP112EN用



2. 試運転



3. 試運転前の確認項目

- 1 手元電源スイッチは圧縮機保護のため12時間以上前に入れてください。
- 2 配管および電気配線が正しく接続されていることを確認の上、ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4. リモコン試運転設定

- 1 リモコンの **点検** ボタンを4秒以上押してから、**運転/停止** ボタンを押してください。
 - 試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
 - 「試運転」モードでは、温度調節はできません。
（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）
- 2 「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後は約3分間は室外ユニットは運転しません。
- 3 正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
下記＜項目5＞"自己診断機能表"を参照して修正してください。
- 4 試運転終了後は再度 **点検** ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付となっています。）
- 5 インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を10分以上行ってください。（欠相確認のため）

5. 自己診断機能表と処理方法

| ワイヤードリモコンなどの表示 | 原因 | | | | 処置方法 |
|-----------------------|--|--|--|--|--|
| | 1：1接続の場合 (シングルタイプ) | グループ制御の場合 | ツインタイプの場合 | 親・子リモコン 制御の場合 | |
| 全く表示 されない | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。 |
| 「設定中」が消えない (10分程度) | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外能力の不一致、他。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 下記室外自動アドレス中のLED表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。 |
| “E01”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線および信号線の断線・接続不良。 ● リモコンが正しく接続されていない。 (リモコン受信不良) | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。＜項目6＞ |
| “E02”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンが正しく接続されていない。 (リモコンから室内ユニットへの送信不良) | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 |
| “E09”表示 | _____ | _____ | _____ | <ul style="list-style-type: none"> ● 親リモコンが2台設定されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● ＜項目6＞“システムコントロールする場合”を参照して正しく設定してください。 |
| “E14”表示 | _____ | _____ | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンわたり配線の断線・接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。 |
| “E04”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外接続線および信号線の接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 |
| “E06”表示 | _____ | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外接続線の断線・接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● ＜項目6＞“システムコントロールする場合”を参照して正しく設定してください。 |
| “E15”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニット容量が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニット総合容量を適切な能力であることを確認してください。 |
| “E16”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニット容量が多い。 | | | | |
| “E20”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットに電源が入っているか、室内外接続線は正しく接続されているか確認してください。 |
| “P05”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。 |
| “L02” “L13”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニット機種の不一致。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | _____ | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニットの機種が合っていることを確認してください。 |
| “L07”表示 | _____ | _____ | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動アドレス設定を行ってください。 ＜項目6＞ |
| “P09”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。 |
| “P12”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットのDC送風機異常。 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室内ユニットのDC送風機異常。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットのDC送風機異常。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 左と同じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● DC送風機と基板間の配線を確認してください。 |

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊“サービス技術資料”を参照してください。

室外基板上のLED表示

誤配線接続の場合、室外基板の「LED1が4回点滅」で（E警報）「LED2が22回点滅」で（E22警報）になります。処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のLED表示（LED1、2が交互点滅します）

「E15警報」LED1、2共0.25秒ON／0.75秒OFF同時点滅します。
「E20警報」LED1、2共0.75秒ON／0.25秒OFF同時点滅します。
上記以外の警報（「E15、E20以外」）は、同時点滅します。

6. システムコントロールする場合

システムコントロールとは、ツインタイプ、グループ制御、親・子リモコン制御する場合です。
シングルタイプ・ツインタイプは<項目6-1>を参照してください。

6-1 基本配線図1 シングルタイプおよびツインタイプの場合。

● 同時マルチ

このユニットは、SPW-AGP180ENでは、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプで使うことができます。また、SPW-AGP112ENでは、室外ユニット1台に室内ユニットを2台接続して使うことができます。

(ツインタイプでは、個別にリモコンを接続しての単独運転はできません。)

● 配線は誤配線のないように接続してください。

(誤配線するとこわれます。)

● 室内・室外の電源を入れると自動アドレスを設定します。

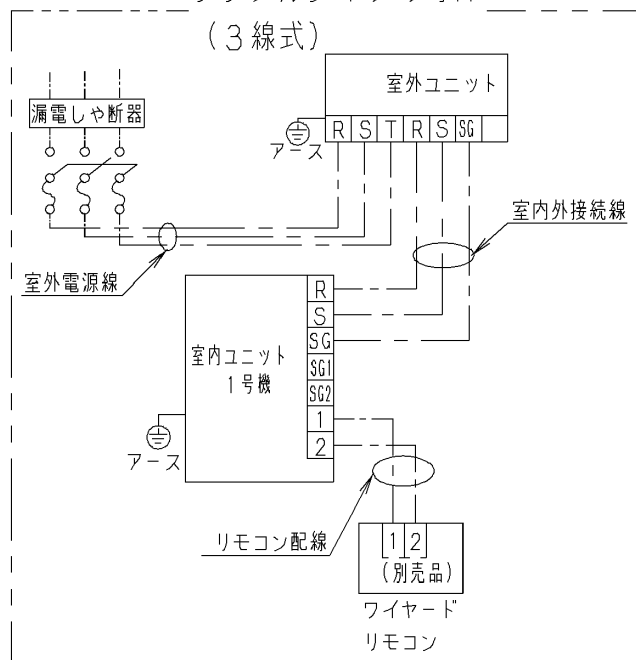
(室外ユニットが1台の場合、系統アドレスが0の場合)

この時、約10分程度かかります。自動アドレス中は、
室外コントロール基板のLED1とLED2が交互点滅し、完了時は消灯します。

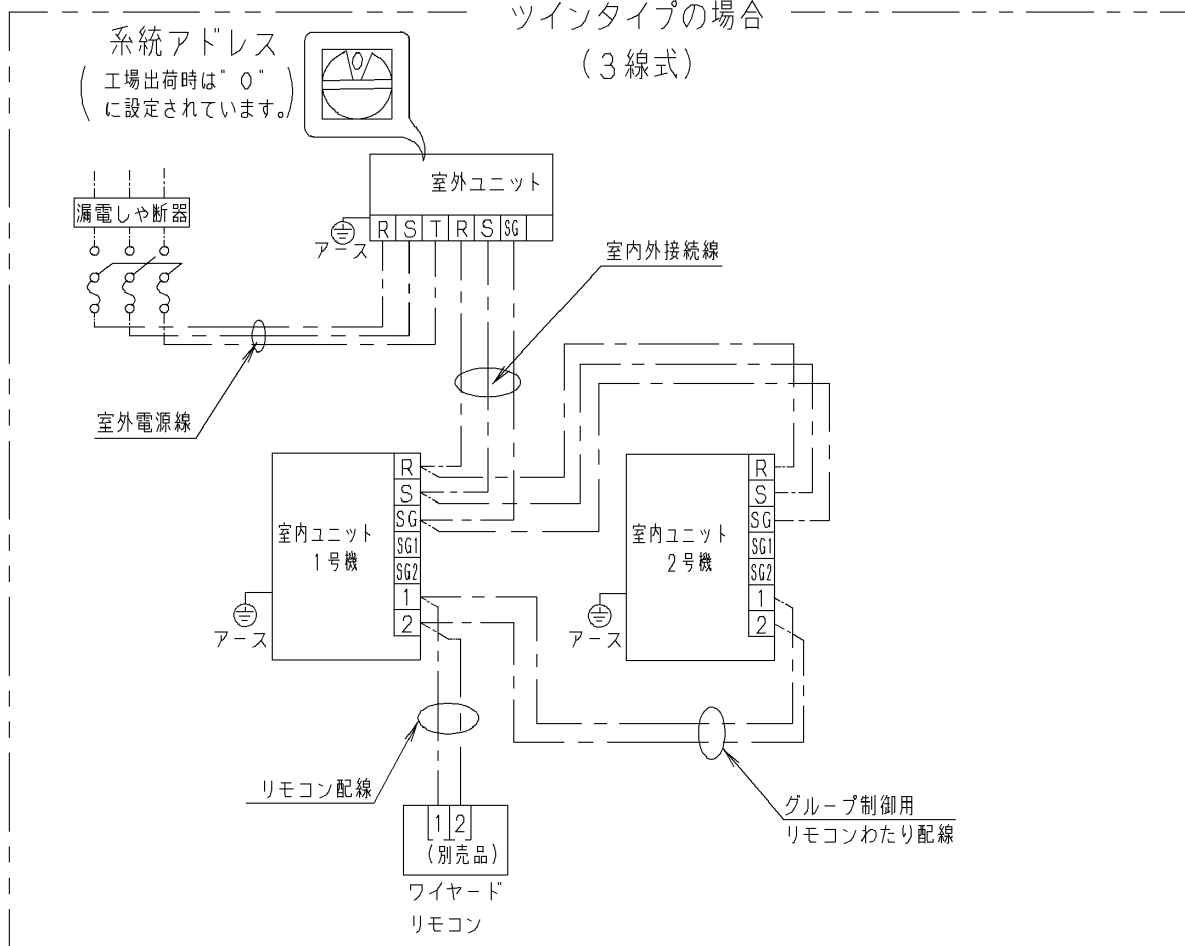
● アドレス完了後、1分30秒以上待ってから、運転を

開始してください。

シングルタイプの場合
(3線式)



ツインタイプの場合
(3線式)



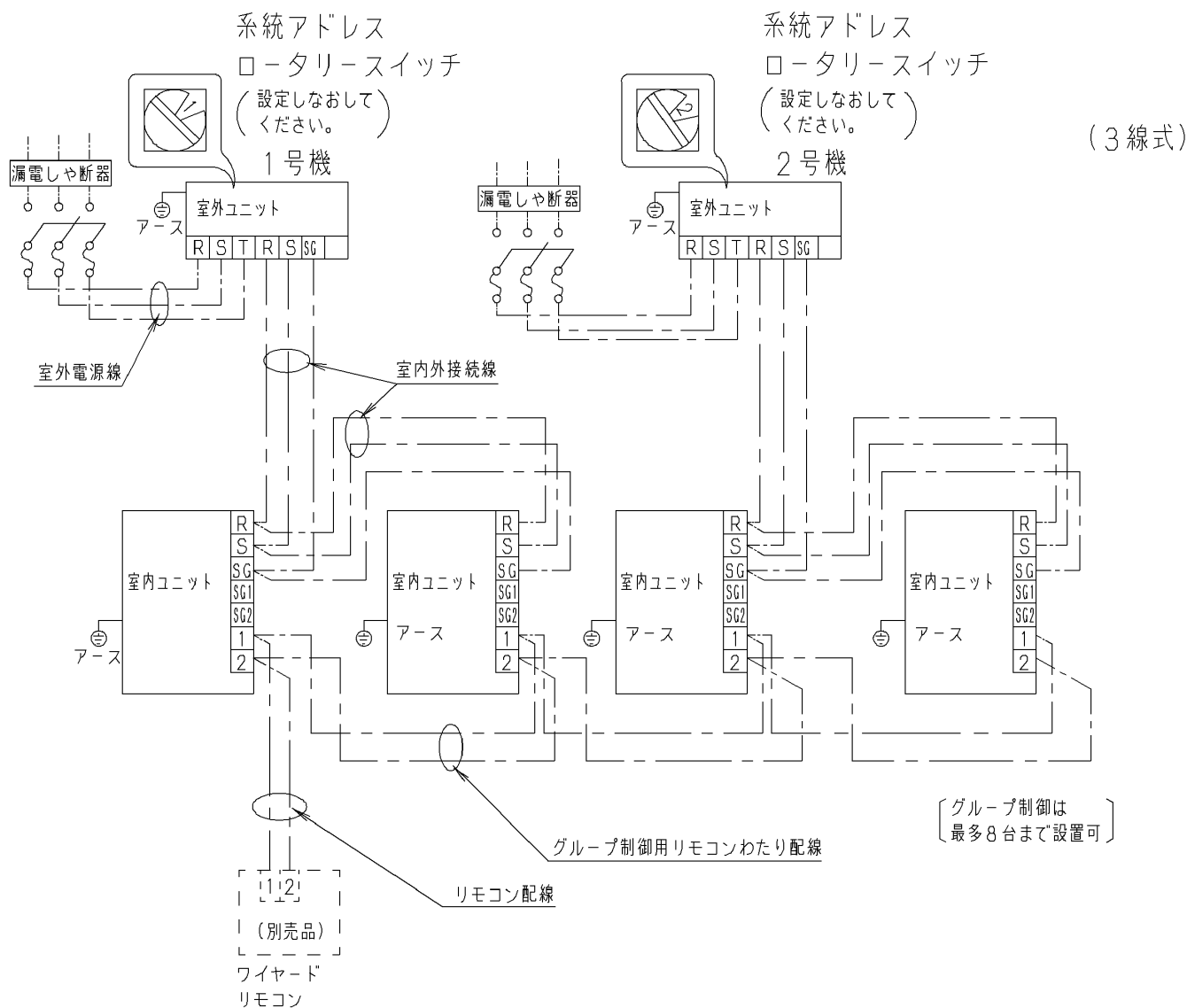
6-2 基本配線図2 グループ制御の場合。（集中制御機器を使用しない場合）

●1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。

（冷媒系統が室外ユニット1台に対し室内ユニット2台の場合）、手元電源スイッチを入れる前に、系統アドレス（冷媒配管系統アドレス）の設定を

してください。（＜項目6-3＞“ 室外ユニット系統アドレスの設定方法” 参照）

（室外コントロール基板、系統アドレスロータリースwitchで設定してください。）

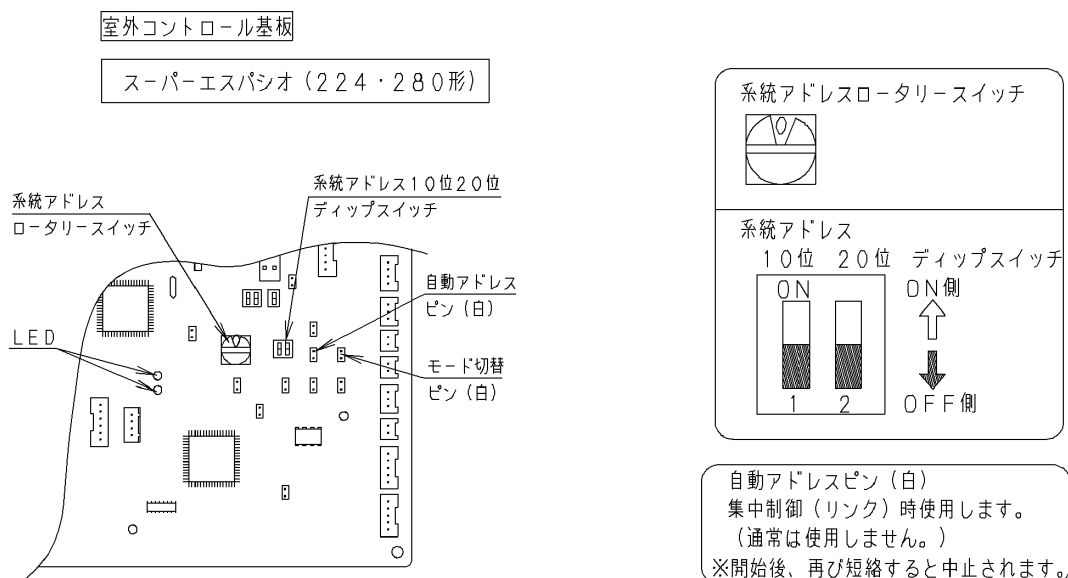


（配線の手順）

1. リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）に接続してください。（リモコン配線）
2. 室内ユニット（R，S，SG）と室外ユニット（R，S，SG）を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット（冷媒系統が異なる）も同様に行ってください。（室内外接続線）
冷媒系統毎の室内ユニットの（R，S，SG）間のわたり配線をそれぞれ接続してください。（室内外接続線）
3. 室内ユニット（リモコンを接続したユニット）リモコン配線用端子板（1．2）から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）にリモコンわたり配線（2線）をそれぞれ接続してください。（リモコンわたり配線）
4. 自動アドレスの設定は、室内・室外共電源を入れ、リモコンで設定してください。（＜項目6-4＞“ 自動アドレス設定方法” 参照）

6-3 室外ユニット系統アドレスの設定方法

基本配線図2の場合（システムアドレス1、2、・・・と設定してください。）



| 系統アドレス番号 | 系統アドレス 10の位 （2Pディップスイッチ） 10位 20位 | 系統アドレス 1の位 （ロータリースイッチ） |
|---------------------------|--|---------------------------|
| 0 自動アドレス （出荷時設定"0"） | 両方共OFF | 設定0 |
| 1（室外ユニットが1号機の場合） | 両方共OFF | 設定1 |
| 2（室外ユニットが2号機の場合） ... | 両方共OFF ... | 設定2 ... |
| 11（室外ユニットが11号機の場合） ... | 10位が ... ON ... | 設定1 ... |
| 21（室外ユニットが21号機の場合） ... | 20位が ... ON ... | 設定1 ... |
| 30（室外ユニットが30号機の場合） | 10位と20位が ON | 設定0 |

6-4 リモコンからの自動アドレス設定方法

基本配線図2の室外ユニットが複数台でグループ制御の場合

冷媒系統毎のアドレス設定方法

室内外ユニット全て電源を入れ、リモコンで設定してください。（自動アドレス中は、リモコンに **設定中** と点滅表示します。）
（電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。）

- リモコンのタイマー時間 + **点検** ボタンを同時に押し（4秒以上）、温度設定 / ボタンどちらかを押ししてください。

（項目コード" A1 " 表示：系統別自動アドレス）

自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）の系統番号を **ユニット選択** ボタンで選び、 **セット** ボタンを押します。

（1冷媒系統の自動アドレスを行ないます。）系統1の自動アドレスが終了と通常の停止に戻ります。

- 系統2も同様にアドレス設定してください。（アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください）

6-5 室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い
自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1. 複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。

（例）（室外）1－（室内）1、2・・・（室外）2－（室内）1、2・・・

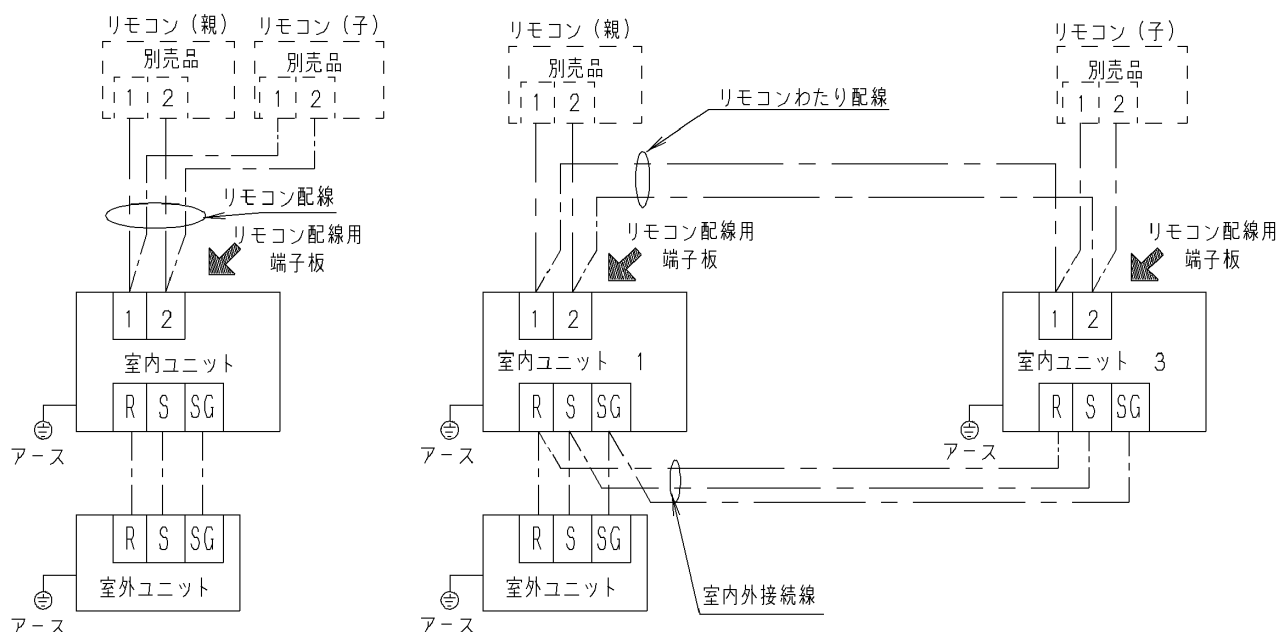
2. メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

※リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。**点検** ボタン+**換気** ボタンを4秒以上押し（簡単設定モード）**ユニット選択** ボタンで室内アドレスを指定します。（ボタンを押すごとに1－1、1－2・・・2－1、2－2・・・と変更します。）選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転しますので、確認し、室内ユニットのアドレス表示をしてください。再度、**点検** ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

6-6 親・子リモコン制御 2個のリモコンで制御する場合。

この親・子リモコン制御は、1台もしくは複数台の室内ユニットを2個のリモコンで操作するものです。（最多2個まで接続可能です）

- 室内ユニット1台を、リモコン2個接続して操作する場合
- ツインタイプをリモコン2個接続して操作する場合



（E形リモコンの設定方法）

1. リモコンを2個接続した中の1個は親リモコンとしてください。
2. その他のリモコン（子リモコン）は、**セット**+**運転切換**ボタンを同時に4秒以上押します。
3. 温度設定 **▼** / **▲** ボタンで項目コード01を指定します。
4. 時間 **▼** / **▲** ボタンで設定データを0001（親）から0000（子）に変更します。
5. **セット**ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
6. **点検**ボタンを押します。
子リモコンは、室内ユニットに接続しても動作します。

試運転担当のかたへ(リンク配線の場合)

アグリモ
ぐっぴー専用

裏面

本説明書は、リンク配線の場合のみの説明書ですので、別紙「電気工事」
「据付工事担当のかたへも、必ず参照してください。

1. 注意

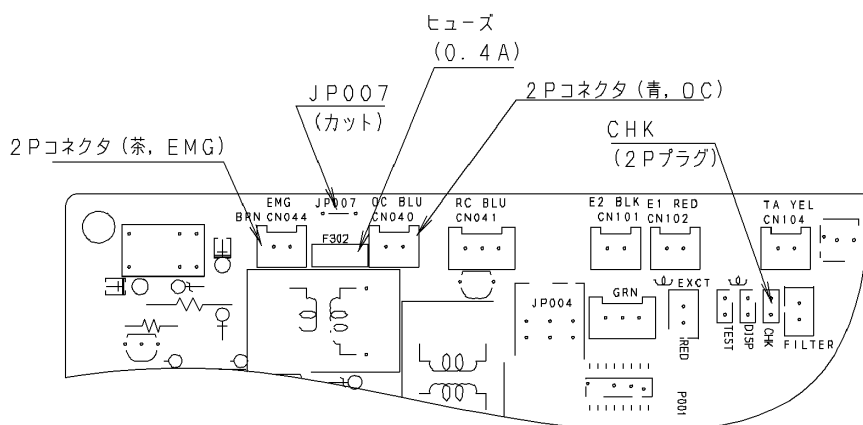
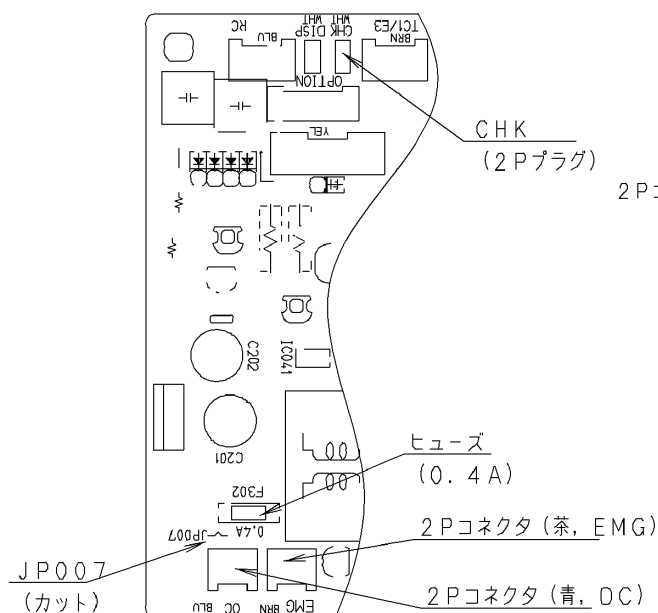
集中制御機器を使用する場合には、
S-LINKアダプターが必要になります。

- このユニットは、SPW-AGP180ENでは、1冷媒系統に室外ユニット1台・室内ユニット1台のシングルタイプで使うことができます。また、SPW-AGP112ENでは、室外ユニット1台に室内ユニットを2台接続して使うことができます。
- リンク配線する場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるように室外ユニット系統アドレスを設定すると同時に、組み合わせが確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に室内・室外組み合わせ番号を表示してください。（後日、メンテナンスに必要となります。＜項目6-2.3.4＞参照）
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして「取扱説明書」を説明した上で、実際に操作していただってください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内ユニット7P端子板のSG1, SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。誤ってAC200Vを印加した場合は室内コントロール基板のヒューズ(0.4A)を溶断して基板を保護するようにしています。配線の接続を修正した後、基板に接続されている、2Pコネクタ(青、OC)を外して、2Pコネクタ(茶、EMG)に差し換えてください。（下図参照）
茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線(JP007)をカットしてください。
（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください。）
- 室外ユニット7P端子板のSG(SG1), SG2端子にAC200Vの配線を接続していないか確認してください。誤ってAC200Vを印加した場合は、回路を溶断して基板を保護するようにしています。
配線の接続を修正した後、室外コントロール基板の(EMG)コネクタに接続されている短絡ピンを「1から2」へ差し替えてください（作業は必ず電源をOFFにしてから行ってください）

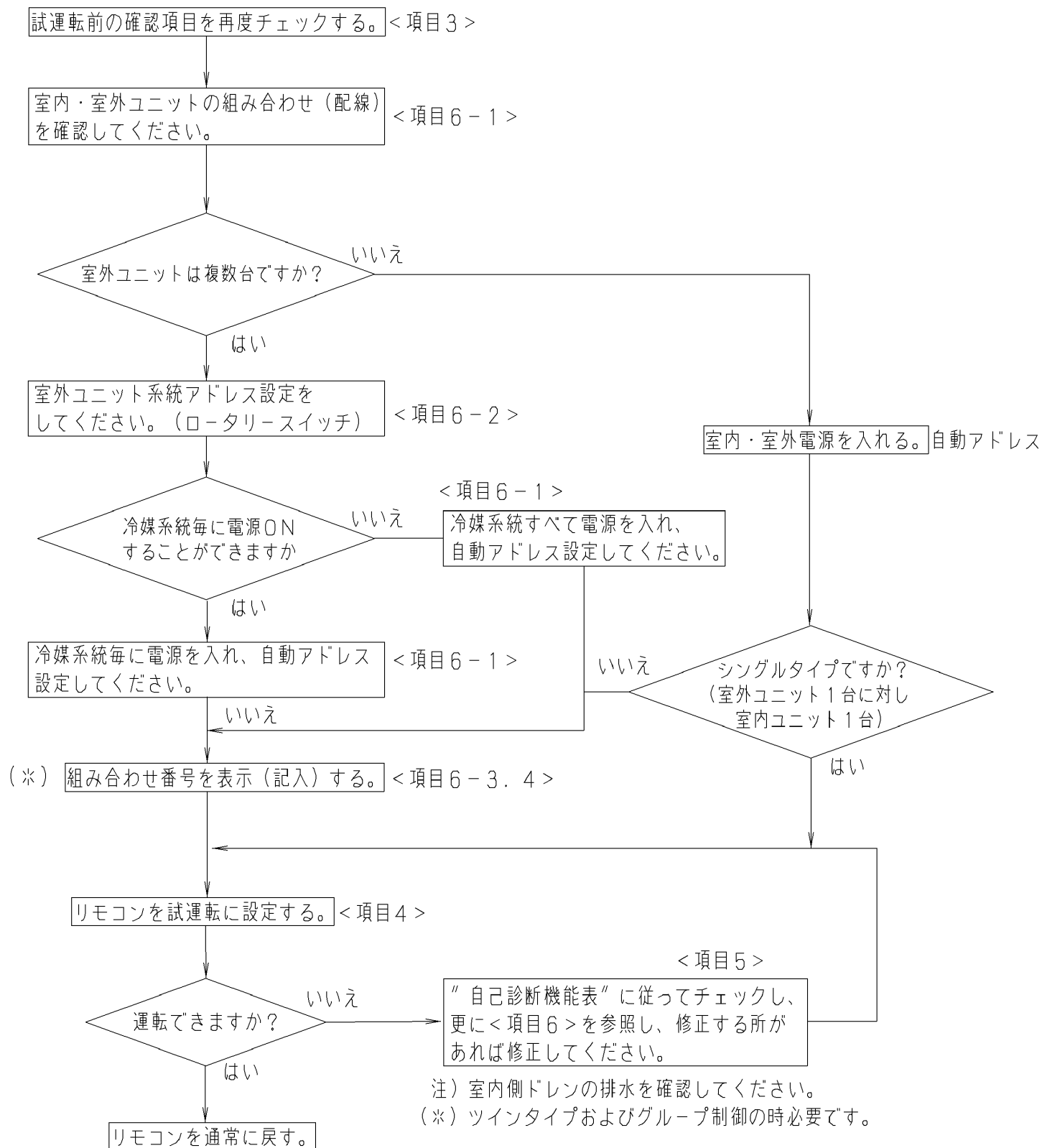
SPW-AGP180E
SPW-AGP180EN用

室内コントロール基板

SPW-AGP112EN用



2. 試運転手順



3. 試運転前の確認項目

- 1 手元電源スイッチは圧縮機保護のため12時間以上前に入れてください。
- 2 ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4. リモコン試運転設定

- 1 リモコンの **点検** ボタンを4秒以上押してから、**運転/停止** ボタンを押してください。
 - 試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
 - 「試運転」モードでは温度調節はできません。
(機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。)
- 2 「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご利用ください。
(注) 電源投入後、および運転停止後は約3分間は室外ユニットは運転しません。
- 3 正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
右記<項目5>の「自己診断機能表」を参照して修正してください。
- 4 試運転終了後は再度 **点検** ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
(このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付となっています。)
- 5 インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を10分以上行ってください。(欠相確認のため)

5. 自己診断機能表と処理方法

S-LINKアダプターの表示

| 赤色ランプ | 状態 | 対応 |
|-------|-------------------|--|
| 消灯 | 本基板に電源が供給されていません。 | ・ S-LINKアダプターと室外ユニット(または室内ユニット)基板との配線があるか確認してください。 ・ コネクターがしっかりささっていることを確認してください。 ・ 空調機の電源が入っていることを確認してください。 |
| 点滅 | 原因 | 処置 |
| | 空調機と通信異常 | ・ 室内外接続線、および、信号線を確認してください。 |
| | 室外ユニットのアドレス重複異常 | ・ 同じ冷媒系統にもう1台S-LINKアダプターが接続されていないか確認してください。 ・ リンクを接続した空調機が同じ系統アドレスでないか確認してください。 |

| ワイヤードリモコン などの表示 | 原 因 | 処置方法 |
|-----------------------|--|---|
| | グループ制御、同時運転マルチの場合 | |
| 全く表示されない | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。 |
| 「設定中」が消えない (10分程度) | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外能力の不一致、他。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 下記室外自動アドレス中のLED表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。 |
| “E01”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。 <項目6> |
| “E02”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 |
| “E14”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンわたり配線の断線・接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。 |
| “E04”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外接続線の接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続してください。 |
| “E06”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内外接続線の断線、接続不良。 | <ul style="list-style-type: none"> ● <項目6>“基本配線図”を参照して正しく設定してください。 |
| “E15”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニット容量が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニットの総合容量を適切な能力であることを確認してください。 |
| “E16”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニット容量が多い。 | |
| “P05”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。 |
| “P09”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。 |
| “P12”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● グループいずれかの室内ユニットのDC送風機異常。 | <ul style="list-style-type: none"> ● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● DC送風機と基板間の配線を確認してください。 |
| “L02” “L13”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニット機種の一不一致。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内・室外ユニットの機種が合っているか確認してください。 |
| “L07”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自動アドレス設定を行ってください。 <項目6> |
| “L10”表示 | <ul style="list-style-type: none"> ● 別途室外メンテリモコンで室外の能力を確認してください。 | |

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊“サービス技術資料”を参照してください。

室外基板上のLED表示

誤配線接続の場合、室外基板の「LED1が4回点滅」で（E警報）「LED2が22回点滅」で（E22警報）になります。処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のLED表示（LED1，2が交互点滅します）

「E15警報」LED1，2共0.25秒ON／0.75秒OFF同時点滅します。

「E20警報」LED1，2共0.75秒ON／0.25秒OFF同時点滅します。

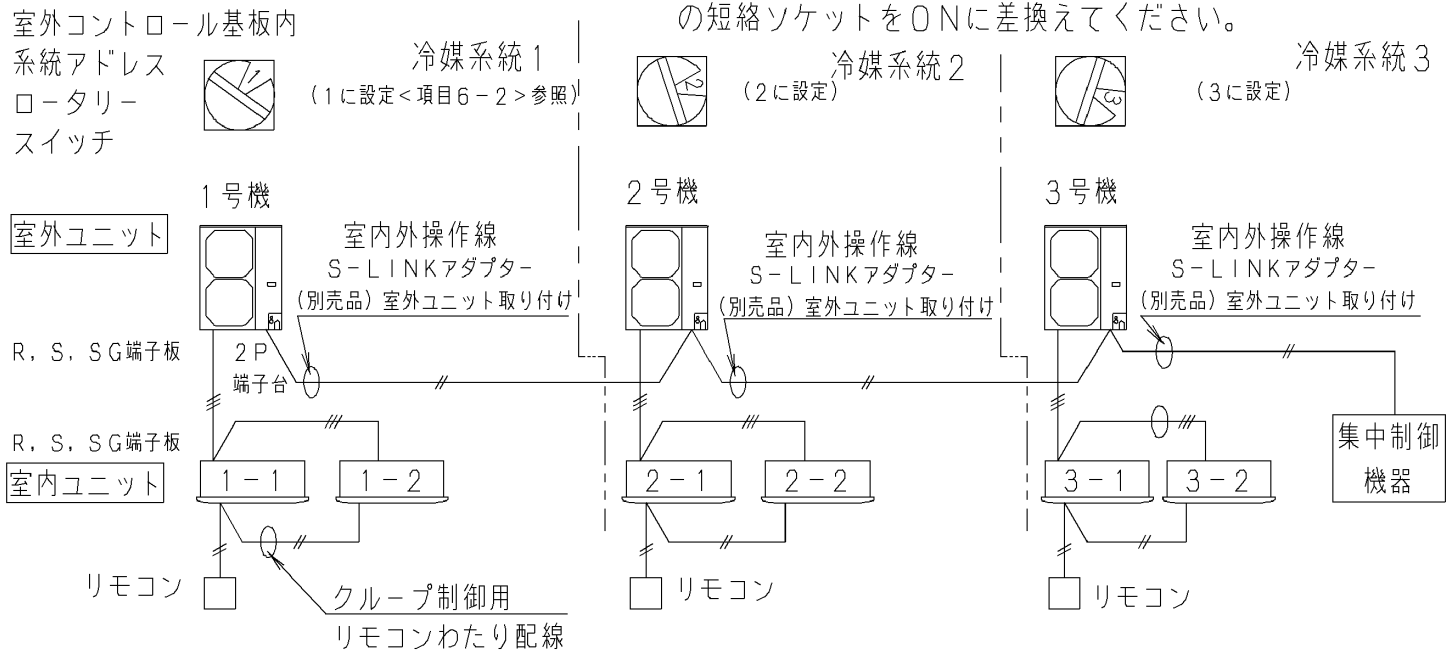
上記以外の警報（「E15，E20以外）は、同時点滅します。

6. 自動アドレスの設定方法

6-1 基本配線図 ●リンク配線。

注意：グループ制御。1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。

・S-LINKアダプターを取り付け、リンク配線する場合はS-LINKアダプター（1台のみ）終端プラグ（黒）の短絡ソケットをONに差換えてください。



室外ユニットから自動アドレスの設定方法

ケース1

●冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも圧縮機を運転せずに室内ユニットのアドレス設定ができます。

1. ・冷媒系統毎に電源が「ONできる場合」1冷媒系統の室内・室外ユニットの電源を入れてください。
・冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」全ての室内・室外ユニットの電源を入れてください。
(電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください)



- ・「冷媒系統毎に電源がONできる場合」電源をONにした室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。
 - ・「冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」自動アドレスしたい室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。 <項目6-2参照>
- (自動アドレス設定の通信が始まります。)



(室外コントロール基板上のLED1と2が交互点滅し、完了時は消灯します。) <約10分程度かかります>



2. 次に他の系統の室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。



(室外コントロール基板上のLED1と2が、交互点滅し、完了時は消灯します。)



(同様の動作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください)





3. アドレス完了後、1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

リモコンから自動アドレスの設定方法



ケース2

- 冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

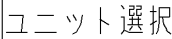

系統別に自動アドレス設定を行います。（項目コード” A 1 ” 表示）
（電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください）

1. リモコンのタイマー時間  +  ボタンを同時に押します。（4秒以上）



2. 次に温度設定  /  ボタンどちらかを押してください。<項目コード” A 1 ” 表示>



3. 自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）の系統番号を  ボタンで選び、E形の場合  ボタンを押します。

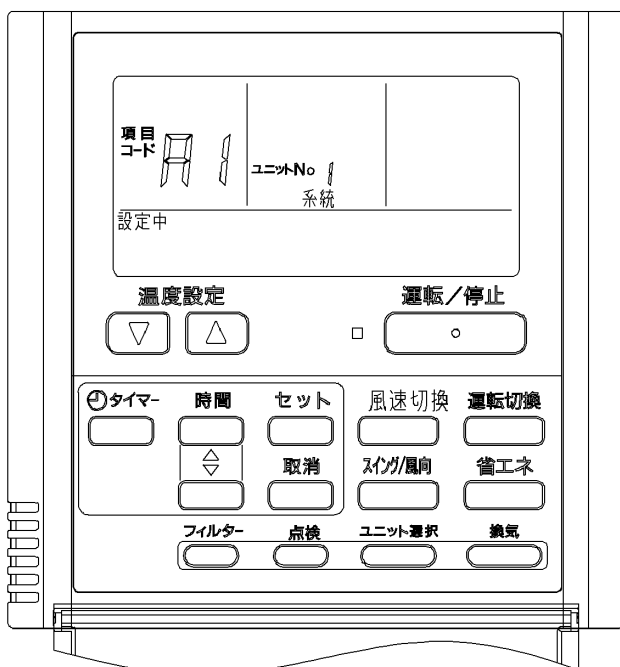
（1冷媒系統の自動アドレス設定を行ないます。）

系統1の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。<約10分程度かかります。>
系統2以降も同様にアドレス設定してください。

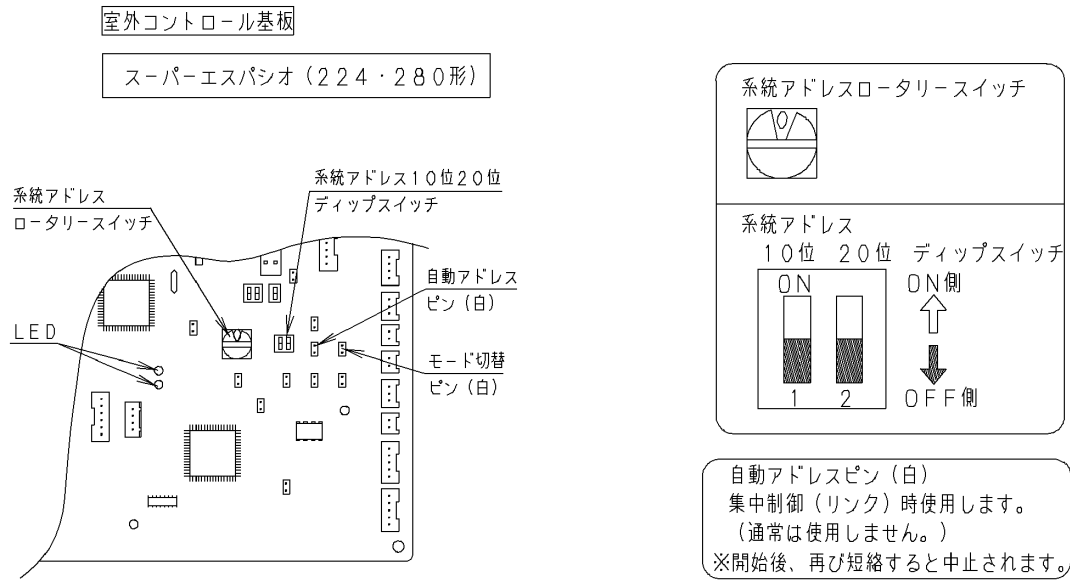
（自動アドレス中は、リモコンに  と、点滅表示し、完了時には消灯します）

アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

E形リモコン



室外ユニットシステムアドレスの設定方法
基本配線図の場合（システムアドレス1、2、3・・・と設定してください。）



| 系統アドレス番号 | 系統アドレス 10の位 （2Pディップスイッチ） 10位 20位 | 系統アドレス 1の位 （ロータリースイッチ） |
|------------------------|--|---------------------------|
| 0 自動アドレス （出荷時設定"0"） | 両方共OFF | 設定0 |
| 1（室外ユニットが1号機の場合） | 両方共OFF | 設定1 |
| 2（室外ユニットが2号機の場合） | 両方共OFF | 設定2 |
| 11（室外ユニットが11号機の場合） | 10位が ON | 設定1 |
| 21（室外ユニットが21号機の場合） | 20位が ON | 設定1 |
| 30（室外ユニットが30号機の場合） | 10位と20位が ON | 設定0 |

室内ユニットのアドレス確認

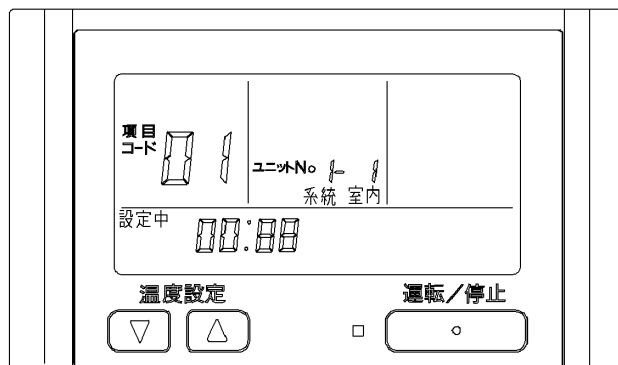
- シングルタイプの場合
- ・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。
 - 1. **点検**ボタン+**換気**ボタンを4秒以上押してください。（簡単設定モード）
 - 2. リモコンに接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。
 - 3. 再度、**点検**ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

●グループ制御をしている場合

・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

1. **点検**ボタン+**換気**ボタンを4秒以上押してください。（簡単設定モード）
2. リモコンにALLが表示されます。
3. 次に、**ユニット選択**ボタンを押します。
4. リモコンに接続されている室内ユニットのアドレスが表示され、その室内ユニットのファンが回転し、風が出ることで確認できます。
（システムアドレスが1号機の場合、ボタンを押す毎に1-1、1-2・・・1-1と変更します。）
（選択された室内ユニットのみ、室内ユニットのファンが回転します）
5. 順次、**ユニット選択**ボタンを押し、室内ユニットのアドレスを確認してください。
6. 再度、**点検**ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

E形リモコン



6-4 **室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い**

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1. 複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板のシステムアドレス番号と対応させ室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。
（例） （室外）1-（室内）1、2・・・ （室外）2-（室内）1、2・・・
2. メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

●リモコンで室内ユニットのアドレスを確認する方法

点検 + **換気** ボタンを同時に4秒以上押し（簡単設定モード：“ALL”表示）、**ユニット選択** ボタンで室内アドレスを指定します。

（システムアドレスが1の場合、ボタンを押すごとに1-1、1-2・・・1-4、ALL、1-1と変化します。）
選択された室内ユニットのみ室内ファンが運転しますので、室内ユニットのアドレスを確認してください。

（システムアドレスが2号機の場合は、2-1、2-2・・・と表示されます。）

再度、**点検** ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。